

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4795500141		
法人名	医療法人ムサザ会		
事業所名	グループホームいけむら		
所在地	宮古島市平良字西里340番地		
自己評価作成日	平成30年2月23日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokennsaku.jp/47index.php?action_kouhyou_detail_2015_022kani=true&JigyosyoCd=4795500141-00&PrefCd=47&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	医療法人ムサザ会		
所在地	沖縄県那覇市上之屋1-18-15 アイワテラス2階		
訪問調査日	平成 30年	3月 30日(金)	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・理念にもあるように、「みんなの笑顔は私の笑顔、私の笑顔はみんなの笑顔」とあるように、みんなが笑顔で過ごす事が出来るよう努力しています。
 個々のペースで過ごせるよう、寄り添いながらゆっくりとした対応を心掛けています。
 地域の行事などへの参加や、ドライブ買い物も頻繁に行き、心に潤いを持って生活が送れるよう支援しています。
 ・個々で家庭的な雰囲気を持ち、掃除・洗濯等家事に積極的に参加して頂き持っている力を活かして行けるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所の利用者の居室は広く、大浴場も設備されているが各居室にシャワー、トイレがあり、入浴は居室シャワーで実施しプライバシーの配慮にも繋がっている。失敗時にもすぐ対応可能である。法人の栄養士のバランス良い献立で、3食事業所で調理し居間と調理場が近く音や匂いを五感で感じる事ができる。利用者が食べやすいように個々にあった盛付を工夫している。利用者全員の入居前からの受診医院が母体医療機関で、利用者、家族とも馴染みの関係である。医師は医療機関が休みの日は時々事業所に来所して利用者の状態を確認している。職員も健康面では安心して支援できる環境である。職員は「笑顔」をモットーに利用者へ寄り添うケアに取り組み、利用者の穏やかな表情に繋げている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「みんなの笑顔は私の笑顔 私の笑顔はみんなの笑顔」を理念とし、日々笑顔で過ごせるようケアに努めています。	理念は、日々の生活の中で利用者・職員が「笑顔」をモットーに、開設時に理念を作成している。利用者が安心して、穏やかに生活ができるよう支援しているが、理念の掲示・唱和での共有に留まっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事への参加や、ホームでの行事などへ参加して頂いたり利用者地域の方との交流が持てるよう支援しています。保育園との交流も行っている。	地域との関わりは、散歩時に近隣の方と挨拶を交わしたり、産業まつりに見学等で交流している。事業所前を走るトライアスロンのランナーを鳴り物で応援、観戦している。保育園児やハロウィンに児童ディサービスの訪問があり交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症介護について研修を行っており、運営推進会議において、地域の住人に発信しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催しています。入居者や行政担当者、ご家族、地域住民、介護事業者が参加しています。	運営推進会議は行政、家族、地域の方が参加して年6回開催されている。会議では事業所の状況等や事故・ヒヤリはっと、外部評価結果等も報告されているが、会議録からは利用者の参加や状況報告以外の委員の意見交換等の内容は確認できなかった。	基準省令に委員のメンバーに利用者の参加も謳われています。利用者の参加や会議録の記述に期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議で相談や助言を頂き、協力を得ています。又、徒歩で伺える為、意見交換を行い協力関係を築くよう取り組んでいます。	市担当者とは運営推進会議や申請手続き、書類等の提出で窓口訪問時に事業所状況等伝える等で情報交換している。外部研修の案内もある。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月行っている研修会において、身体拘束マニュアルを熟読し、活用して実践してケアにあたっています。又、転倒事故防止の為、センサー感知器や鈴等で対応しています。	管理者、職員は身体拘束をしないケアについて理解している。年1回は身体拘束マニュアルの読み合わせを行い確認している。夜間帯のみセンサ(2名)鈴(1名)で転倒事故防止の為行っている。契約時に「身体抑制に関する説明、確認のリスク」について説明し同意を得ている。	
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	認知症等病気の理解をし、研修等の受講により知識を習得し、利用者に寄り添ったケアに努めるようにしています。又、職員の話をよく聞き心のケアにも努めています。	虐待防止に関するマニュアルも整備し。管理者、職員は利用者の状態等を理解しケアに努めている。マスコミ等の報道時には職員間でも話題にしている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員研修を行い、制度について学ぶ機会を持ち、職員の知識向上に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様やご家族様へホームでの生活において、誤解や不安感を抱かれないよう、契約時にはサービスの説明や利用料の説明などについて同意を求めるようにしています。		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議やご家族のホームへの訪問時電話などにより、近況報告を行い、意見や要望などを伺うようにしています。	運営推進会議や面会時に声をかけたり、又、家族の意思等を聴く機会としてや利用者と家族との関係が疎遠にならないように、毎月の利用料は直接事業所での支払いとなっている。利用者からは日々の生活の中で声をかけ聴いている。利用者からの「家族に会いたい」には奥様が生活しているケアハウスを訪ねている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングにおいて、意見や提案を聞き反映させています。	日々の業務の中や月1回のミーティング、申し送りで職員の意見を聴いている。「トイレに柵や籠を設置してほしい」や「口腔ケアの容器の確保」など直ちに購入に繋げている。昨年「休憩時間を2時間から1時間に」との意見には、職員も2時間の休憩時間を個々に活用して今まで通りの休憩時間となっている。	
12	(9)	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格取得に関する給与体制等の考慮がされており、職員自身が働きやすい職場環境づくりに努めています。	管理者は職員の声を聴く、島内での開催の外部研修には職員が参加できるように努めている。勤務シフトの希望休は出来るだけ叶えている。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月1回の職場研修を行い、外部研修にも積極的に参加できるよう勤務等考慮をしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会を通して交流する機会を作っており、運営推進会議においても、他介護事業所との交流があります。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人の自宅等慣れた環境で話を伺い健康状態、生活歴、要望を聞き、本人が安心して生活できるよう心掛けています。		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居申し込み時には面談をし入居後もご家族の要望を聞き、どのようなケアが良いのか話し合いながら行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人やご家族の相談内容や心身状態を把握した上で必要とする支援を考え、サービス提供等の情報提供を行っています。本人やご家族の自己決定により支援を実施しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	笑顔で接し寄り添う気持ちを持ちながら、ゆっくりと生活が送れるよう、励まし支え合える生活を心掛けています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話などでご家族と本人の思い現在の状況を共有し、ご家族と一緒に協力して本人を支え合う支援を行っています。		
20	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人などが気軽に訪ねてくれる雰囲気作りを心掛けています。又、外出やドライブで住み慣れた地域に行き、交流が出来る様に支援しています。	地域社会との関係性は、本人や家族に聞いたり、アセスメントから把握に努めている。家族の協力で入居前より利用していた美容室に通っている利用者、ドライブ時に馴染みの海やお店に出かけている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し席の配置を工夫しながら、利用者同士で支え合えるよう配慮しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了しても本人やご家族の関係性を大切にし、遊びに来てもらったり、行事に招待したりして、相談や支援が出来るよう努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活をする中で、本人の希望や思い、これまでの暮らし方や趣味などの情報をもとに把握し、本人が自己決定できるよう努めています。	日々のケアの中や本人、家族から、聞いたり以前の計画書を基に職員や家族に確認して把握に努めている。曖昧な利用者の思い等は職員間で話し合っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族などから、本人の生活歴や生活環境、思いなどを把握するよう情報収集に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の今までの生活リズムを大切にし、現在の生活を記録して、食事、睡眠、排泄等を把握し、生活のリズムを職員間で確認できるようにしています。		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族、主治医の意見を取り入れ、毎日の申し送りや職員ミーティング等により、課題やケアの在り方について話し合い、現在の本人に適した介護計画を作成しています。	サービス担当者会議に本人、家族も参加して開催している。モニタリングは毎月、短期目標の評価は3か月毎に、1年毎に計画見直しを実施されている。アセスメントは更新時に行い介護計画を作成し、利用者の役割も反映した個別計画となっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活状況や健康状態を個別に記録し申し送りで共有し、介護計画も定期的に確認し、変化があればモニタリングを行い、状況に適した計画の変更を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族のニーズに対しては、安心安全に暮らして頂けるよう、ご家族職員等と話し合い調整し柔軟に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事には参加するようにしております。地域住民の方にも運営推進会議に参加して頂いています。		
30	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医に定期的及び必要時に受診をしています。又、医師への連絡を密にし、医療面での相談が来ています。	以前からのかかりつけ医は全員母体の医療法人クリニックとなっており、医師との連携がとれている。随時医師の訪問があり、健康管理に配慮している。他科受診は家族対応としており受診結果は、口頭で提供してもらっている。職員は申し送り時に情報の共有をしている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に見護師の訪問もあり体調不良時の相談や助言ができ、安心して支援が出来る。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中も、まめに面会を行うようにしています。入院時は医療機関へ情報を提供し、面会時にその後の状況を聞き、退院後の受け入れがスムーズに行えるようにしています。		
33	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の状態の変化に応じて説明し、終末ケアについて話し合い看取りについて確認しています。又、介護サービス計画更新時に家族に意向を再確認し、看取りについて伺います。	利用開始時に家族の意向を把握し、希望があれば看取りケアをする方針である。書面の準備もされており、重度化や終末期に向けての職員研修も行っている。又、医師との連携を密にして状態の変化に対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎月行っている内部研修にて、急変時や事故発生時の対応についてマニュアルの確認を行い、今後起こりうる事態について話し合いを行っています。		
35	(15)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の防火誘導訓練を実施し、防火災害マニュアルを作成し対応法の周知を図っています。又、周知事業者へ協力を呼びかけ一緒に訓練を実施しています。	乾パンやカップラーメン、缶詰等の備蓄を1ヶ月分している。水も屋上にタンクを設置しており、随時入れ替えをしている。同じ建物の3階と4階の事業所と連携し、夜間想定自主防火訓練を行っているが、1回のみで近隣住民への声掛けもされていない。	1年に2階は近隣の住民への声掛けをして、実践的な防火訓練が望まれる。

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(16)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇やプライバシーの研修を行い、入居者の尊厳を尊重し、対応や言葉使い等を改善するように心掛けています。	職員は利用者の人格を尊重し、ゆっくりゆったりと言葉をかけ、時折島の方言を交えながら話しかけている。若いスタッフが多いので、マニュアルを中心に事業所内の研修を行い、気になる言葉使いをしたときは、その都度説明している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活する中で本人の希望や思いを聞き、話しかけ、表情に注意し、本当の気持ちを探るよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホーム側の都合を押し付けがちになっている部分もあるが、本人が今日は何がしたい今何がしたい等の希望がある時は、叶えられるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人に着たい衣服を選んで頂き、楽しくおしゃれが出来る様に支援しています。又、起床時ブラシを渡し、自分で髪をとかしてもらえよう支援しています。		
40	(17)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	手伝いの可能な方には、出来る範囲で無理強いする事無く、楽しく食事が摂れるよう支援しています。	法人の栄養士が立てた献立により届けられた食材を3食とも事業所内で職員が交代で調理しており、個々に合わせて硬さや量、盛り付けの工夫をしている。夜勤者は検食の夕食を利用者と共にいただき食事のチェックをしている。たまには利用者と買い出しに行くこともあり、家族からの差し入れもある。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量を毎食記録して、摂取量が少ない場合医師に報告し、適切な対応を行っています。水分量も個々の好みに合わせて楽しく確保できるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	特に朝夕食後の口腔ケアは職員が声掛けし、見守りや介助を行い、うがいを行っています。義歯は毎日チェックして、義歯洗浄剤を使用しています。		
43	(18)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表や状況を確認し、プライバシーに配慮し、失敗ないようにトイレ誘導や声掛けを利用者に合わせた時間に行っています。又、日中と夜間で対応を変えケアをしています。	今は排泄の自立をしている方はいませんが、排泄チェック表などを利用してトイレ誘導をしている。日中は居間で過ごす方が多いので近くのトイレにリハビリパンツやパット又は個人のズボンを常に準備している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表や状況を確認し、個々の排便周期を考慮し、自然排便が出来るよう、牛乳や食事の工夫や運動等を行っています。		
45	(19)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1週間に3回とある程度の設定はあるが、気持ちよく入って頂くよう必ず本人の意向を確認して入浴を行っています。又、入浴拒否のある方も本人のタイミングや声掛け促しを行い入浴出来る様にしている。	1週間に3回程度のシャワー浴を支援している。シャワーを嫌がる方には時間をおいて声掛けをしたり足元からゆっくりシャワーをかけて手早く介助したり工夫をしている。男性職員の介助を嫌がる女性利用者には女性職員で入浴支援をしている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の良い睡眠が出来るよう、日中は離床し体操や趣味活動を行っています。又、本人の希望や状態により自由に昼寝も行っています。		
47	(20)	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の種類や効果を、全職員が理解できるよう個人ファイルに綴り、いつでも確認が出来るようにしています。又、本人の状態の変化にも気を配っています。	毎週火曜日に法人のクリニックで全員の処方箋がなされ、それぞれ個包装されている。誤飲を防止する為、夜勤者が個人の小箱に処方箋と照らし合わせながら翌日分をセットしている。薬を吐き出す方もいるので、飲み込みの確認をしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の気分に応じ、新聞折り、手作業や外出やドライブ等、希望を取り入れながら気分転換を図っています。		
49	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に散歩やドライブ買い物に出かけています。又、初もうでや新聞等に掲載されている地域のイベントには参加するようにしています。誕生日等にみんなで外食を楽しんでいます。	天気が良く、職員にゆとりがある時は事業所周辺を車イスでの散歩を支援している。買い物から大型店舗までドライブしたり、伊良部大橋や産業まつり等へ出かけている。又、馴染みの美容室へ月に1回お出かけ支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が少額の現金を持つ事で、落ち着かれる事もあるので、ご家族と調整しながら所持しています。又、買い物時会計をお願いする事もあります。		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望する時には、家族等に電話をし話をして頂いています。又、年賀状等は代読をし本人に伝えています。		
52	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には大きな窓があり、その日の天気分かり、明るい日の光が差し込み、温かく心地よい空間にし、季節を感じる事が出来ます。季節に合った装飾をしています。	日中を過ごすことの多い居間は広々として、大きなガラス窓から日光が入り明るく、居心地の良い場所となっている。CDで馴染みの懐メロや宮古民謡・クイチャー等を流し和んでいる。ガラス窓に桜の切り絵を貼って季節感を出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルとソファがあり気分に合わせ過ごせるよう工夫し、仲の良い方々を同じテーブルにする等楽しい時間を過ごせるよう配慮しています。一人で過ごしたい場合は、廊下の椅子や部屋へ戻られています。		
54	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が居心地よく過ごせるよう、自宅で使用していたもの等を配置して頂いています。本人やご家族と相談しながら、写真を飾ったりしています。	明るくて広々とした居室には、シャワーとトイレも設置され、プライバシー保護にも繋がっている。自宅で使用していたタンスやテーブル、椅子などを使用している方もいる。家族の写真や遺影を飾ったり、仏壇を置いている方もいる。季節ごとの衣類の出し入れは、家族と職員で連携して支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	事業所全体がバリアフリーになっており、手すりが設置されています。本人の部屋やトイレが分かるよう大きく名前や写真を掲示したりして分かりやすくしています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の会議録で利用者の参加や状況報告以外の委員の意見交換などの内容が確認できない。	利用者の参加や委員の意見交換の内容が確認できるよう記録をする。	運営推進会議の会議録の中に質疑応答の欄を掲載。	12ヶ月
2	35	自主防火訓練が矢感想d停の1回のみしかされていない。	年に2回の近隣住民への声掛けをし防火訓練を実施する。	近隣住民への声掛けをするが中々、予定が合わず苦戦しているのが現状です。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。